

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	城南保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成 23 年 1 2 月 1 5 日

総 評	<p>伏見区向島ニュータウンの中心部に位置し、利用者の大半が徒歩圏内に住まう地域に密着した保育園です。</p> <p>昭和 5 6 年の開設以来「全力をかけて、一人ひとりの子どもを幸せにする」という保育理念のもと丈夫な身体と豊かな心を育てる保育に取り組んでいます。</p> <p>特に自園の畑で収穫した野菜が食べられる環境や、乳児のボディマッサージを取入れる触育は特徴的で利用者からも好評です。</p> <p>また、民生児童委員、子ども見守り隊等の協力を得て、日々朝夕の通園時の声かけ、行事への参加等、乳幼児を持たない世代とも繋がるための実践がなされています。</p> <p>職員間のコミュニケーションも良好で管理者のリーダーシップも明確な保育園です。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者は、長年の経験とリーダー性を発揮し、保育の質の向上に取り組んでいます。利用者との懇親会などから保護者や地域ニーズを察知し、迅速に対応しています。 ・ 食育の取り組みが熱心に行われています。献立や、野菜栽培、給食展示、喫食状況の把握、アレルギー食対応等、随所に工夫や配慮が見られます。 ・ 週 2 回の園庭開放と夏祭り、運動会に地域の方が参加されています。事業所の機能が地域に還元され、地域のコミュニティーとしての保育園の役割を果たしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の研修計画はありますが、個別研修計画作成や、研修後の評価・反省・分析などが園内で行われると良いでしょう。 ・ 毎年全ての保護者と個別面談を行っています。面談記録の記入の仕方の統一を図るために、マニュアルを整備されると良いでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	城南保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成23年12月15日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	B
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
	I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	B
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	B	B
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	B
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	C	C
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	C	C
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

- ・「全力をかけて、一人一人の子どもを幸せにする」という保育の理念に基づいて、基本方針、保育目標などが確立され、しおりやパンフレットに明文化されています。継続的に研修や会議を行なうことで職員の周知につながるでしょう。
- ・保育課程は未編成ですが、地域の特性、利用者の状況を把握した上で編成されることを望みます。
- ・指導計画を立て定期的な評価がなされています。今後は前月の評価結果を翌月へ反映するために記載漏れのないようにするとよいでしょう。
- ・管理者は、長年の経験とリーダー性を発揮し、保育の質の向上に取り組んでいます。利用者との懇親会などから保護者や地域ニーズを察知し、迅速に対応しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
II-2 人材の確保・養成	II-2-1 (1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
	II-2-2 (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-3 (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		C	C	
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		B	B	
II-2-4 (4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	C	B	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	C	B	
II-3 地域との交流と連携	II-3-1 (1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-3-2 (2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B

[自由記述欄]

・経営主体である京都社会福祉協会は、京都市内で複数保育園を運営しています。近年は地域の福祉サービスに対するニーズ、保育の質の向上、職員の職場環境を考えて同一法人内の職員異動を推進しています。

・職員の研修計画はありますが、実施できていない点がありました。個別研修計画作成や園の特色を強化するためには、研修後の評価・反省・分析などが園内で行われると良いでしょう。

・実習生受け入れ担当者やボランティア受け入れ実績はありますがマニュアルがありません。法人で立てられたものを自園での計画と照合し実習計画と共にマニュアルの作成が望まれます。

・週2回の園庭開放と夏祭り、運動会に地域の方が参加されています。事業所の機能が地域に還元され、地域のコミュニティとしての保育園の役割を果たしています。

・民生児童委員、子ども見守り隊等の協力を得て、日々朝夕の通園時の声かけ、行事への参加等、乳幼児を持たない世代とも繋がるための実践がなされています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 Ⅲ-1-1 (2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	B
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B C	B B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 (1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	C	A
	Ⅲ-2-1 (2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	B	B
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	B		
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1 (1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-1 (2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

[自由記述欄]

- ・利用者のプライバシー保護に関して、マニュアルを整備することで全職員への周知につながるでしょう。
- ・利用者の意見に適切丁寧に対応しています。今後マニュアル整備と記録の整理、第三者委員の連絡先や検討内容の公表によって、より良い自己評価が期待されます。
- ・今回第三者評価を受けるに際し、園長・主任を中心として評価委員会を立ち上げ自己評価を行うとともに保育の質の向上に取り組んでいます。
- ・入園児には面接、健康診断等が行なわれています。全園児対象の個人カリキュラムは、提出期限までに仕上げるとなおいでしょう。
- ・サービスの継続の観点からもケース会議記録、発達記録、保育記録は重要です。乳幼児の成長、発達状況に添って記録を保存されると良いでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	B	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	B	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

- ・感染症のマニュアルが整備されています。通用門にお知らせを出すことで感染症への注意が多くの利用者に周知されています。
- ・登園時には保護者、保育士、子どもたちの元気な挨拶や体調を気遣う会話が交わされています。
- ・保育室には、絨毯や畳、コーナーなど年齢や遊び、遊具に配慮した環境が工夫されており、子どもたちは思い思い（編み物、ブロック、絵描き、積み木等）に遊ぶことができます。
- ・乳児は、一人ひとりの赤ちゃんに保育士がゆったりと温かく関わっています。月齢に合わせた遊べる環境も工夫されています。MISP(衣服着用マッサージ)の資格を職員が取得し、保育・子育て支援に活かされています。
- ・幼児は、園庭遊びを順次主活動として取り組み、支援の必要な子どもにも、そっと寄り添う保育士の姿がありました。
- ・子どもが心地よく過ごす工夫は、量を置くなど随所に見られますが、湿温計を置くなど室内環境の管理が必要でしょう。
- ・大型遊具の使い方は、どの子にも判りやすいように視覚支援がされています。
- ・食育の取り組みが熱心に行われています。献立はもちろん、野菜栽培や展示、喫食状況の把握、アレルギー食対応等、随所に工夫や配慮が見られます。
- ・調理員や栄養士は毎月子どもたちの中で一緒に食事をし、保護者ともコミュニケーションを取って子どもたちの様子の把握につとめています。
- ・子どもの安心安全、心地よさを第一に考えるとき、室内、廊下の掃除、衛生面には配慮が必要でしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

- ・保護者と毎年2回の懇談会、1回の個別懇談が行われています。面談記録の記入の仕方の統一を図るために、マニュアルを整備されると良いでしょう。
- ・児童相談所や福祉事務所との連携はスムーズに行なわれている記録が確認できました。虐待児の対応に関するマニュアルも自園に見合った整備をすると良いでしょう。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	C	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	C	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

- ・食中毒のマニュアルは保育園にありますが、周知と活用が望まれます。
- ・週一回の安全点検がなされていますが、事故の対応マニュアルやヒヤリハットなどのチェックリストを作成・活用されるとなお良いでしょう。
- ・マニュアル類の見直しと、そのプロセスについて文書化し作成されるとなお良いでしょう。